りょうかわ

学校だより　令和元年6月6日号　新潟市立両川小学校

子どもたちへのメッセージ

校長　　中村　雅芳

運動会から約１週間経ちました。校長先生をはじめ，先生方みんなが，あの日の余韻にいまだに浸っています。みなさんはいかがですか？あの日の喜び，悔しさ，涙は，もう過去のものとなってしまいましたか？それとも，私たち同様に，何度も何度もかみしめ，余韻に浸っているものでしょうか。

運動会の後，みなさんが全員下校し，片付けが終わった教務室では，先生方のお話がいつまでたっても終わりませんでした。お話の中身は，すべて，みなさんの成長した姿についてでした。この日一日を通して得られた感動エピソードが，次から次へと語られ続けました。そしてみんなで「よかったね！よかったね！」と共感し合いました。

涙を流して，みなさんの成長を喜ぶ先生も何人かいらっしゃいました。校長先生は，その先生たちの姿を見て感動し，涙が出そうになりました。約２時間，私はその場にいたのですが，用事があったために，お先に失礼しました。その後，何時くらいまで先生方が話し続けたのかは定かでありませんが，先生方にとって最高に幸せな時間でした。

先生方が語ったみなさんの成長した姿，感動したシーンの一端を以下に羅列します。学年や個人名は伏せて書きますが，きっと自分のことだと察してください。

- 赤組が上学年団体種目で負けた後，○○さんは結果を責めることなく「最後まであきらめない姿がかっこよかった！」と，むしろプラスの発言していました。
- ○○係の○○さん，発表練習を何度も何度も繰り返し真面目に行い，一言一言をかみしめるように，丁寧に伝えていました。
- 私が指示するよりも早く，○○係同士で協力し，考えて仕事を進め，てきぱきと正確に役割を果たしていました。

・本部で計算する役割ではないのに，○○さんはその場の状況を察して，進んで得点計算をしてくれました。お陰で，遅れずにすみました。

・赤組応援団が，リレーで４位になって泣き崩れる団長を支えていました。「まだ終わりじゃない」「俺たちがリードしていたから，同点になったくらいだ」と，プラスの言葉を投げかけるとともに，「もしもエール交換ができなかったら，団長の代わりに○○さんにやってもらおう」と，次への備えを話し合う姿がありました。その配慮に感銘を受けました。

・下学年リレーで赤組に１，２位をとられ，白組がしょんぼりと戻ってきたときに「大丈夫！俺たちが取り返すから気にするな！」と励ます高学年の姿が最高にかっこよかったです。しかも有言実行したのはすごい！

・後片付けの時に，率先して動く人がたくさんいました。閉会式では悔し涙を流していた人が，気持ちを切り替えて「手伝えることはありませんか？何でも言ってください」と積極的に申し出ていた姿に感動しました。多くの中学生も，自然に動いていて，とても嬉しく感じました。

・順位や勝ち負けを口にする子どもが殆どいませんでした。その日の結果だけでなく，自分が成長したことへの満足感や，仲間に対する配慮など，いろいろと理由はあることでしょうが，昨年には見られない姿でした。

・赤組の○○さんは「赤白関係なく，頑張ってくれた応援団のためにサプライズで何かしたいんですが‥」と申し出て，それを実行に移しました。応援団に対して，全員で感謝とねぎらいのエールを送る姿を見て，とても感動しました。

・白組○○さんは，赤組応援団長の姿を見て「僕も泣きそうになりました。応援団長というのは，あのようにあるべきなのですね」と，勝敗を超えて感動していました。

エピソードのほんの一部です。紙幅の都合上，ここまでとします。続きは，友達同士で出し合い，共有してみてください。こんな素晴らしい運動会を創り上げたみなさんを，校長先生は誇りに思います。そして，そんなみなさんに，お願いがあります。

運動会を「点」で終わらせないでほしい。ここでみなさんが表してくれた素晴らしい姿を日常生活でも表し，「線」につないでいってほしい。具体的に，**自ら率先して動く姿，明るく元気に挨拶する姿，何事も真面目に丁寧に行う姿，リーダーの働き掛けに誠意をもって応える姿，相手の気持ちを察して相手のために動く姿，最後まであきらめずに全力を尽くす姿，お互いに敬意をもって接する姿**が，日常生活で見られることを期待します。